

<b>令和4年度 指定管理者施設管理評価シート</b>			<b>部課名</b>	教育委員会生涯学習課	
<b>施設名称</b>	44	東京都台東区立根岸社会教育館	<b>指定管理者</b>	J N共同事業体	
<b>選定方法</b>	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		<b>指定期間</b>	R4.4.1	～ R9.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 社会教育の振興を図るため、区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。
(2)	[所在地] 台東区根岸5-18-13 都営住宅14階建1階根岸図書館併設 [規模] 延床面積567㎡ SRC造 ホール(60名)、第1会議室(40名)、第2会議室(30名)、和室(40名)
(3)	[委託事業] ①社会教育センターの管理運営 ②各種社会教育学級・講座・研修・講習会等の実施 ③社会教育に関する資料収集・情報提供 [自主事業] 地域の繋がり文化イベント、学ぶ機会を広げる講座、サークルフェスタ等実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 【開館日】火～日曜:午前9:00～午後10:00 月曜:午後1:00～午後10:00 【休館日】国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 6名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(4)  (前年増減) 増減なし

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料(指定管理料)	13,862,000	14,561,280	13,830,000	13,968,753
	利用料金収入	2,138,000	1,167,095	2,170,000	1,604,360
	その他収入( )	0	0	0	0
	計	16,000,000	15,728,375	16,000,000	15,573,113
支出	人件費	12,243,000	13,138,395	12,243,000	12,550,985
	光熱水費	1,457,000	1,466,153	1,457,000	1,648,812
	維持管理費(委託料・賃借料)	1,413,000	1,275,606	1,413,000	1,523,000
	修繕費	110,000	247,394	110,000	0
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(交通,通信運搬,消耗品費等)	777,000	217,061	777,000	198,525
計	16,000,000	16,344,609	16,000,000	15,921,322	
収支			-616,234		-348,209

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
年間開館日数	日	355	336	287	330
自主事業等講座	講座	15	15	4	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率	%	43.0	53.2	35.3	45.6
利用人数	人	24,000	30,008	9,864	15,761

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	事業計画書や協定書等に基づき、適正に管理され、関連法令等を遵守して運営されている。一時滞在施設としての運営をシミュレーションし、帰宅困難者対策訓練を行う等、適正な管理体制のもと運営が行われた。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	自主事業の内容や方法を毎年見直し、生涯学習・社会教育等の施設目的に沿った事業を展開している。利用者アンケート回収率が非常に高く、利用者との適切なコミュニケーションが図れていることが伺える。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備の不具合発生時に迅速に対応する等、適切な維持管理がなされている。転倒防止のためのセンサーライトを職員通用口に設置する等、危険箇所の把握や事故防止策へ積極的に取り組んでいる。また、新型コロナウイルス感染症対策も適切に行っている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	若年層向けの講座の実施やアンケート回収率が高いことなど、サービス向上への積極的な姿勢が伺える。新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった利用者懇談会の代わりに、利用者へアンケートを郵送して報告や要望の収集を行う等の工夫が見られた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	全体として支出が収入を上回っているため、業務の効率化等の取組みが必要である。利用料金収入については令和2年度よりも増となっており、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で、収支を改善する対策が必要である。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 ( 95 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用人数・件数・利用率が社会教育施設の中で最も高く、若年層向けの講座を開催する等、利用者の増加に向けた取組みも実施しており、地域の社会教育の拠点を担っている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>その他支出は抑えられているが、全体として支出が収入を上回っているため、収支を改善するための対策が必要である。</p>